

お買い上げ有難う
御座います。

埋め太郎

Ver.1

ご施工要領書

とめ太郎 シリーズ

【埋め太郎キット ご施工要領書】

●埋め太郎キットは0.5～3mmのクラックに適しています。

使用するもの（キット同梱品）

- | | |
|---------------------|----|
| 1 埋め太郎(クラック補修材)500g | 1袋 |
| 2 ビニール手袋 1組 | 1組 |
| 3 ディスポカップ | 1個 |
| 4 注入容器(充填用ボトル) | 1本 |
| 5 プラスチックヘラ(スクレーパー) | 1本 |
| 6 ナイロンブラシ | 1本 |
| 【固めの歯ブラシでも代用可】 | |
| 7 ご施工要領書(本書/表裏) | 1枚 |

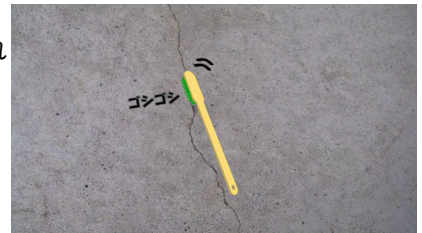


イメージ

(注)吸水調整(漏水確認)/注入・混入用のペットボトル(イメージ)は付属しておりません。別途ご用意下さい。

1 <下地清掃>

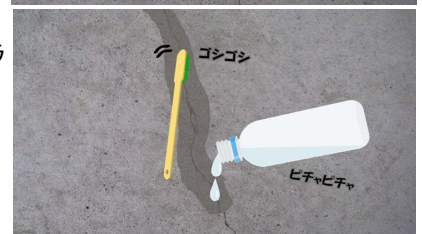
対象箇所を、付属ブラシやエアリーナー等で、丁寧にひび割れ(クラック)部の清掃を行う。



2 <吸水調整(漏水確認)>

ひび割れ(クラック)に水を注入し、吸水調整を行うと共に、ブラシ擦りで補修材の注入口を確保する。
(注水作業により、階下への漏水確認も実施)

※補修材は水中不分離性を有し、残水の影響は無く、逆に乾燥状態ではドライアウトに伴う流動性(充填性)低下が、懸念される為、注水は十分に実施すること。



3 <混入>

付属のディスポカップに、クラック補修材(500g)の質量に対し、30%の水を投入。

※【参考】 付属の補修材500gに対しては、水150cc となります。



4 <練り混ぜ>

付属のビニール手袋を装着、ダマが無くなるまで、よく練り混ぜる。



5

< 移し替え >

よくかき混ぜたスラリーを、付属の注入容器のキャップを外し、投入する。



6

< 注入 >

注入容器からひび割れ(クラック)に、スラリーを丁寧に注入する。

※特に、小さなひび割れ(マイクロクラック)には、スラリーが入り込むまでに時間を要します。



7

< 追い注入 >

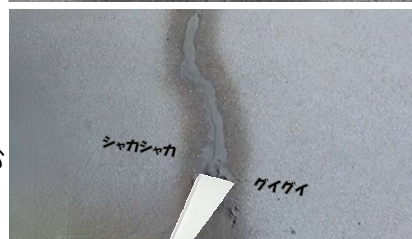
スラリーがひび割れ(クラック)に、徐々に入り込み、スラリー部に溝(↑)が浮き上がったら、追加の注入を行う。



8

< 表面形成 >

スラリー注入終了 約1〜2時間後(季節により変動)、スラリー部の表面を指先で触り、柔らかく固まっている事を確認し、ひび割れ(クラック)部に、スラリーを付属のヘラで押さえつける様、表面形成を行う。
(万が一、注入出来ていない箇所には、パテ処理要領で押し込むこと)



9

< 養生・清掃 >

ご施工終了後、養生は約24時間を目安とする。ひび割れ(クラック)補修後、対象箇所以外に付着した 材料は取り除き、清掃を行う。

※補修後の表面外見は、周囲環境・作業者技能個々により、変動をします。表面外見はあくまでも参考となります。



【ご注意】 ▲施工前に、必ずお読みください▲

- * 本品はコンクリート専用のひび割れ(クラック) 補修材となります。 * 水量は必ず厳守し、よく練り混ぜてください。
- * 下地処理は適切に行ってください。下地に異物やホコリが付着したまま補修を行うと、本品の性能が発揮できない事があります。
- * 注水時に、階下など補修箇所以外への漏水がないか必ず確認してください。本補修材は微細な空隙を伝いますので、補修箇所以外へ流出する可能性があります。
- * ひび割れ(クラック) の原因が、構造物の不同沈下や外力によるもの、又は使用環境の温度変化等による、ひび割れ幅の変動や、乾燥収縮の進行が完了していない場合は、補修後に再度ひび割れ(クラック) が発生する事が御座います。本品にて、再度補修対処を行っても解決しない場合は、別工法の検討をお薦めします。

【安全対策】 使用前に必ず施工要領書をお読み下さい、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない事。《保管》 施錠して保管すること。

- ・ 本製品による粉じん等を吸入しないこと、取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ 本製品はセメントを主原料とし、水溶液はアルカリ性を示します。長時間皮膚に浸すことのないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所のみ使用すること、保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

- 《廃棄》 内容物 / 容器を国 / 都道府県 / 市町村の規則に従って廃棄する事。
- ※詳細な内容が必要な場合には安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- キット内容物は予告無く変更する場合がありますので、ご了承願います。

【応急処置】 万が一吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

以上のいかなる場合においても、応急措置を速やかに行い、必ず医師の診断 / 手当を受けること。

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町9-5 THE HUB日本橋兜町903号

TEL 03-5643-8137 FAX 03-5643-8138

EPJ株式会社 お客様窓口

Mail : info@epj-inc.co.jp